

平成 27 年度 第 2 回白馬村総合教育会議 議事録

1 日 時 平成 28 年 1 月 15 日 (金)
開会 15 時 30 分 閉会 16 時 45 分

2 会 場 白馬村役場 3 階 全員協議会室

3 出席者 白馬村長 下川 正剛
白馬村教育委員会
委員長 塩島 弘之
職務代理 伊藤 公一
委 員 西澤 みどり
委 員 田口 令子
教育長 横川 宗幸

(説明等のために出席した職員)

総務課長 吉田 久夫
総務課長補佐兼総務係長 田中 克俊

(事務局)

教育課長兼スポーツ課長 松澤 忠明
スポーツ課長補佐兼スポーツ係長 松澤 宏和
公民館長兼社会教育係長 長澤 秀美
教育係長 遠藤 裕子

4 協議事項 (1) 平成 28 年度の教育方針 (案) について
(2) その他

5 議事の概要

○開 会

松澤教育課長が開会を宣言した。

○あいさつ (下川村長)

お忙しい中お集まりいただきありがとうございます。日頃より教育委員の皆さんには、村を担う人づくりの基盤と言えます教育の推進に向けて真剣にお取り組みをいただいておりますこと、感謝申し上げます。

村は現在、第 5 次総合計画の策定に向けて、この度作成いたしました白馬村総合戦略をリンクさせながら進めているところであります。

そういった面からも、本日は忌憚のないご意見をいただきながら、村と教育委員

会が意思疎通をはかり、より一層の効果的な教育行政の推進へとつなげていきたいと考えておりますので、よろしく願いいたします。

○協 議 （議長は下川村長）

(1) 平成 28 年度の教育方針（案）について

- ・遠藤教育係長が、会議資料により説明した。
- ・下川議長が、「人権教育の推進」の項目に関しての発言を求めた。
- ・塩島委員長 現在、各校におけるいじめの状況について大きな事案の報告はないが、常に内在した問題があると思っていた方が良いと感じる。大きな事態となる前に学校が把握したことを皆で考える機会を持ち対応することが大事。現在は、インターネットを利用した LINE などのツールを使用して、子どもたちの間でいじめ問題が生じることが大変心配されている。教育委員会も学校 PTA と青少年育成村民会議との事業としてインターネットもルールづくりを進めて啓発しており、取り組みを続けていく。
- ・下川議長 青少年育成村民会議が開催したインターネット啓発の講演会は、良い話だったが参加者が少なく残念。こういった取り組みは今後も継続してほしい。
- ・松澤課長 開催の時刻等、今後も改善してより多くの皆さんに来ていただくよう検討していきたい。
- ・横川教育長 インターネットによる問題の啓発については 28 年度教育方針案に取り上げていない。28 年度の教育方針に取り組みとして付け加えてはどうか。
- ・下川議長が、「生きる力をはぐくむ教育の推進」の項目に関して発言を求めた。
- ・伊藤職務代理 先日スクラムネットの方と話をすることがあり、白馬村は大北の他の町村に比べ村費加配による教育支援員配置については、手厚く行ってもらっていると聞いた。是非継続してほしい。
- ・塩島委員長 問題を抱える児童生徒への支援体制については、更に充実をされたい。
- ・下川議長 中学校と小学校の連携により英語教育を進めていくということだが、白馬村は訪れる外国人が他市町村に比べ非常に増えている。そういったところに対応できる力も必要と考えている。小谷は保育園から実施しているとも聞く。
- ・田口委員 ALT はどのくらいの時間教えているのか。
- ・田中総務課長補佐 小学校は年間 35 時間。
- ・西澤委員 ALT の授業の様子を見ると、やはり必要なことなので充実させてほしい。
- ・下川議長 ICT を活用した授業については効果的なものか。
- ・塩島教育委員長 タブレットを使った授業は、いままでの授業のように教師からの生徒への一方通行の授業形態でなく、子どもたち同士での学び合いが可能で、教師もひとり一人の意見を一度に確認することもできる。実際に学校で授業を見てみると ICT を活用した授業はとても効果的であり推進してほしい。

- ・下川議長 「地域を学び、郷土の魅力を知る教育の充実のために、郷土学習や体験学習を取組む」という項目に関しては、子どもたちには白馬を学ぶ授業を行って、是非白馬の良さを知ってほしい。
- ・伊藤職務代理 青鬼などを子どもたちが訪れて学習するようなことが良いとの意見をもらった。
- ・松澤課長 そういった機会を充実していきたい。
- ・遠藤教育係長 小学校については、青鬼を訪ねる機会を設けたいと希望していたが、今年度は災害による通行止めで実施できなかった。
- ・下川議長 地域の魅力を知ってもらうには、本当は白馬岳に登ってもらうのがいいと思うが、危険があるとのことで唐松岳登山を行っている。今後も白馬を学ぶ体験学習は充実してほしい。
- ・下川議長が、「家庭、学校、地域の連携・協力の強化」の項目に関して発言を求め、あわせて信州型コミュニティスクールについて説明を求めた。
- ・横川教育長 信州型コミュニティスクールについては、新年度に白馬中学校で取り組む予定をしており、地域の力を学校へいただけるよう期待している。
- ・田口委員 白馬駅前の交差点は通学路であるから、待ち時間の多い信号になっているのか。渋滞解消のためスクランブル交差点にはできないのか。
- ・田中課長補佐 公安委員会からは現在の交通量ではできないと言われており、分離式信号機となっている。
- ・西澤委員 学校給食施設については、施設検討委員会で検討をしているということであるがどうなっているか。自校方式が良いと感じている。また、給食を他所に委託するようなことではなく、地場産を使った地元の人がつくる給食が好ましいと思うし、それが郷土の魅力を知る教育につながると思う。
- ・下川議長 給食施設検討委員会を7回開催してきたとのことであるが、現在の検討の状況を説明されたい。
- ・松澤課長 現在検討の最終段階に入っており、その結果が固まれば村長に報告をしていくこととなる。
- ・下川議長 給食施設については、いろいろな意見があることは承知しているが、より良い方向で決めていきたい。
- ・下川議長が「自己実現を目指す生涯学習の推進」の項目に関して発言を求め、神城断層地震の撓曲の保全について説明を求めた。
- ・松澤課長 塩島の城山から見て向かって左がせり上がった状態の撓曲が出ている。この部分を保存して、村・県の指定から国の指定へと認めてもらえるよう進めたい。
- ・西澤委員 スポーツ推進計画を基にスポーツを推進していくということであるが、総合型スポーツクラブの活動との関連性は。
- ・松澤課長 総合型スポーツクラブについては、少子化の問題はあるが、現状を維持しながらより良い運営ができるよう補助していきたい。
- ・下川議長 国民体育大会冬季大会スキー競技会については、関係機関と連携して体

制の整備をして、成功に向けて取り組んでいきたい。図書館については、協議会で図書館基本計画の策定作業をしているところで、施設整備に向けても早急に検討していきたい。

- ・塩島委員長 学校図書館との連携については、村民に学校図書館を開放することであったか。
- ・松澤課長 学校図書館と村の図書館でお互いに必要とする図書を貸し借りできるような形で、現在行っている県立図書館などと連携と合わせて、相互の貸し借りができるようにしていきたいと考えており、学校図書館を開放するところまでは考えていない。
- ・下川議長 現在、村では来年度予算編成を進めており、神城断層地震後、村の財政も非常に厳しい状況であるが、村を担う子どもたちの育成、生涯学習やスポーツといった機会の充実に向けて、検討をしていきたい。

(2) その他

- ・下川議長 来年度を初年度として村の第5次総合計画を策定する作業にはいっており、10カ年における基本構想と5カ年の基本計画策定作業を進めている。教育の観点から目指していくべき村の姿について感じておられることがあればお話しされたい。
- ・塩島委員長 教育については、まず足元を見て目の前に真摯に取り組んでいくことが必要で大切なことと思う。
- ・下川議長 地方創生というところで、白馬の魅力を発信できるような施策についてはどうか。
- ・松澤課長 28年度方針案にある生きる力を育むという項目にある取組みに該当する。学校支援を充実させるとともに、特色ある学校教育・社会教育を展開することにより、村外から人の流れを生むような教育を進めていきたい。
- ・下川議長が協議の終了を宣言した。

○閉会

- ・松澤教育課長が閉会を宣言した。